



年を取つたからこそ見える風景もあります

相
変わらず、忙しい合間縫つてゴルフしてます。いや。ゴ
ルフの合間に仕事しているのかもしれません（笑い）。

よく行く仲間といふと、さまざまな生き方が見えてきます。

家電メーカーの営業部長だった人は、僕より二つ上ですから、七五か六才ですかなあ。

この人は、年に一〇〇回ぐらいゴルフ行くそうです。そしてその費用はゴルフ場でアルバイトして稼いでます。

つまり、今までの経験を生かして、社員教育やサービスの改善をしたりして、お客様からも、ゴルフ場からも感謝されるといいますから、ええ人生送ってますなあ。

その結果、ゴルフ三昧しても、家に迷惑かけない収入を確保して、孫の面倒も見て楽しんでいる言うから、うらやましいもんです。

もう一人は、親御さんが認知症にかかるて面倒見てる人です。奥さんが働いて、彼は五五才から介護に専念してるそうです。自分の母親ですかね。

では、本人は生活費をどうしてるかというと、インターネットやそうです。

例えば、趣味を生かして注文に応じてゴルフ用品をアレンジして売る、という具合です。甲斐性があるんですね。

打ち上げたのはいいけど 次のステージに行きませんでした

三人目は、役所関係の人です。来年六〇になります。この人は堅実に生きてます。

まあ、みなさん、それぞれの人生を歩んでます。

これ見るようすに、今、生きる道はなんぼもあるのやと思ひます。

僕にしても、宇宙やつて、医療に関心もつて組織つくつたり、最近は大学にも関わっています。

でも、今思うに、宇宙をやめるのは、少し早過ぎたような気がします。

人工衛星を打ち上げたのはいいけど、次のステージに行きませんでした。

道半ばで終わつてしまつた。

種はまいたけれど、それを収穫できませんでした。当時は、まだその重みがようわかつてなかつたような気がします。

本当は、「まいど1号」を打ち上げて、それに集まつた町工場に賑わいを与えて、東大阪に活力を！若者が集まる街に！というのが次のステージでした。



◎(株)アオキ取締役会長

青木 豊彦 (あおき・とよひこ)



1945年大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし、人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪市立大学学長特別顧問に就任。現在は(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事としても活躍中。

大義はそこにあつたのですけど……。
第一段階は成功したのは成功しましたが、ノウハウは拡散してしまいました。

三段ロケットの打ち上げに成功して、一段目は切り離したけれど、そこでおしまいになつてしまふたんです。

そして、打ち上げた後のゴタゴタで、痛い目にあつて、タイミングと仲間づくりがいかに大切かということが、ようわかりました。

今、主にやつているのは、モノづくりのために、次の世代を育てていくことです。

そのためには、若い人がいてる大学を元気にせんといけませんわなあ。

人が集う、誰でも来れて、なおかつ風格のある場所をつくるねばなりません。

その点、東京はうらやましいです。なんと言つても、人が多いから、人材が豊富です。東京には求心力がある。

文部科学省は今後、東京二三区の大学の定員増を認めないそうです。そんなことするの、東京は若者に求心力があるからでしようなあ。

若者をブラックホールに送らないで 大阪におつてもらわないといけません

しかし、このままやと、根から腐りかねません。東京の出生率は全国で一番低いですやないですか。若者飲み込んでも子供が生まれない。これどう思います？

若者をブラックホールに送らないで、大阪におつてもらわなければなりません。

それで、大阪に、おつてもらわなければなりません。そんなこんなで、宇宙で道半ばやつた道を、大阪ひいては日本に活力をという道を、また歩かないといけません。七四才にもなつてと思うこともあります。ゴルフばかりやつとけば、ええかなとも思うこともあります。

でも、年を取つたからこそ見える風景もあります。

小なりといえど、会社の社長やつて、頂上から苦しみながら自分とこの山みて、今度は、頂上からドローンで飛び立つて、もとい！ドローンやなくてウチで開発した無人飛行機に乗つて(笑い)、自分とこばかりやのうて、他の会社も見えるようになりました。

例えば、伸びてる会社は、鳥の目、虫の目に加えて魚の眼で流れを読んでます、時代見てます。そんな会社は、従業員は自分が社長だつたらと考えて動いてます。

パチパチパチ……。

おつ東京のおつちゃん、今回は最後に出てきて拍手かい？
「出てくるのやめようと思つてましたけど、やつぱりやめられません。青木さんの嘶はくせになります。食べ物で言うたらクサヤみたいなもんですかなあ。くさいけどうまいわ」

それ……、どういう意味やねん。

(撮影：氏野光子)



●関西のくさいものの代表はフナ寿司